

公益社団法人京のふるさと産品協会令和5年度第3回理事会

次 第

日時：令和6年3月13日（水）午前10時30分～

場所：京都JAビル206会議室

1 開 会

2 議 事

[報告事項]

- (1) 令和5年度法人運営に関する事項
- (2) 令和5年度業務の実施状況
- (3) 賛助会員の新規入会の状況
- (4) 理事長（代表理事）・業務執行理事の業務執行状況報告
- (5) その他

[協議事項]

- (1) 令和6年度事業計画及び収支予算について
- (2) 令和6年度会費の賦課・徴収方法について
- (3) 野菜計画生産出荷促進対策特別事業交付準備金の返還について
- (4) その他

3 閉 会

令和5年度第3回理事会 報告事項

- 1 令和5年度法人運営に関する事項
- 2 令和5年度業務の実施状況
- 3 賛助会員の新規入会の状況
- 4 理事長（代表理事）・業務執行理事の業務執行状況報告
- 5 その他

報告事項 2 令和5年度業務の実施状況

ブランド推進事業

1 ブランド認証事業

(1) ブランド認証の状況

ブランド認証品目： 31品目（内加工品2）

ブランド指定産地： 111産地

(2) ブランド認証審査会の開催状況

年月日	審査会名	審議内容
令和5年9月 5日	合同幹事会（青果、豆・酒米）	ブランド産地指定期間の更新及び新規指定
9月21日	京野菜審査会	同上
令和6年3月 7日	合同幹事会（青果、豆・酒米、京の酒・京漬物）	ブランド産地指定期間の更新
上記同日	幹事会（林産）	同上
3月15日	幹事会（水産）	同上
3月22日	京野菜審査会	同上
上記同日	農林水産品審査会	同上

2 消費者ニーズに対応したPR強化

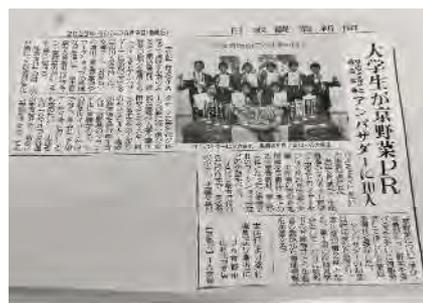
(1) 「第2期 京 vege アンバサダー」任命式を開催

（6月7日(水)、京都JAビル）

京野菜などの京のブランド製品の魅力を若い世代の消費者の視点から情報発信する「第2期 京 vege アンバサダー」（大学生10名）を任命しました。



アンバサダーの集合写真



朝刊に掲載



KBS 京都が取材



KBS 京都で当日の夕方に放映

京 vege アンバサダーは、「産地見学会」「老舗フェスティバル」「農林水産フェスティバル」「KYOTAMBA CHRISTMAS MARKET2023」等で活躍しました。

(2) オンラインを活用した、産地見学会の開催

料理店、青果バイヤー、市場関係者に向けて、生産現場を知っていただく産地見学会を開催(内1回生中継)

同時に現地参加者を募集して、参加者と生産者の交流と意見交換を産地から発信しました。

第1回 万願寺甘とう(万願寺とうがらし) (6月27日(火)、綾部市)

<参加者>17名(現地6名、オンライン11名)東京の料理店からオンライン参加あり

<参加者の声>「肉厚ジューシーですごく甘い!」「やはり採れたては違う」

「万願寺甘とうのますますファンになった」等の声をいただきました。



参加者インタビュー



生産者へこだわりを聞く



生産者が収穫体験の説明

第2回 京たngo梨(9月26日(火)、京丹後市久美浜町)

<参加者>7名(現地参加者のみ)

<参加者の声>「生産者の努力と苦労が分かりました」「選果場では梨をカットせずに選別していることが分かった」「京たngo梨の貴重性を知ることができた」等の声をいただきました。



選果場での説明



生産者が自ら参加者へ説明



参加者が収穫体験

3 販売促進活動強化の取組

(1) 首都圏での京野菜取扱強化への取組

- ① 「食の京都 縁日マルシェ」を開催(7月15日(土)~16日(日)、新宿高島屋)
万願寺甘とう、京みず菜、京壬生菜、九条ねぎ、賀茂なす等を販売、2日間で約19万円の京野菜の売り上げがありました。



京野菜販売ブース



会場の様子

景品の京野菜クッキー

- ② 「老舗フェスティバル2023」に参加(10月21日(土)、東京都中央区日本橋)
京野菜の販売とPRを実施しました。来場者数3,500人、売上:32,700円



京野菜を説明



販売ブース

- ③ 「横浜北仲マルシェ」に参加(1月20日(土)、神奈川県横浜市)
京野菜の販売とPRを実施しました。来場者数1,200人、売上42,900円



京野菜出展ブース



来場者へ京野菜の試食レシピを説明する、野菜ソムリエ



野菜ソムリエ考案簡単レシピを掲載

④ 「えびいもお試し会（試食会）」開催(11月17～26日、ABC Cooking Studio)

食に関心の高い在住者を対象とした「えびいもお試し会（試食会）」を首都圏のABCクッキングスタジオ3ヶ所各5回、合計15回開催(522人が試食)

<メニュー>「えびいももち」(過去レシピコンテストで入賞)

<参加者の反応>「今までにない不思議な食感で美味しい」と好評



参加者へえびいもを説明



えびいものPRと「えびいももち」

(2) 京野菜の新規販路開拓に向けた試食宣伝の実施

近畿圏・首都圏以外の新たな販路として、1月13日(土)中京圏の市場セントライ青果株式会社にて販促を実施しました。おおよそ200人の市場関係者や飲食店関係者の方にご来場いただき、花菜と九条ねぎを試食いただきました。中京圏への京野菜販路拡大に向け、取り組みを実施しました。



競売台前にてイベントを実施



京野菜の説明



試食品の配布

(3) 試食宣伝等による販売促進等

近畿圏はもとより首都圏でも京野菜の認知度は高く、調理法を知りたいという消費者が多いため、京野菜の調理サンプルやレシピのリーフレットを掲示し、京野菜等の更なる認知と購入意欲の向上に努め、消費拡大を図りました。

<ほんまもん京野菜取扱店等での実施回数>

首都圏 61回 14店舗

近畿圏 14回 14店舗



(4) 「京の食材マーケット開拓員」が首都圏の販路開拓サポート

「京の食材マーケット開拓員」を設置し、京野菜をはじめとする府内産農林水産物及びその加工品について、首都圏での料飲店や業務向けの新たな需要開拓を推進しました。

<主な活動内容>

- ・東一等首都圏卸等とのパイプ役
- ・首都圏販路開拓先（高級量販店）情報収集・提供
- ・協会等が行う首都圏でのPR活動サポート
- ・ほんまもん京野菜取扱店との情報交換

4 各種イベント開催における京野菜等のPR

(1) 京都府農林水産フェスティバルを開催

第51回「京都府農林水産フェスティバル2023」を開催。府内産農林水産物や、加工品及び手作り製品の展示・販売等を通して生産者同士や消費者との交流を深め、多くの方に府内産品の良さをお伝えしました。

新鮮で良質な府内産農林水産物やふるさと産品を広く府民にPRする多彩な取組を展開し、「味わい、体験し、買える」魅力あふれるイベントとなりました。

月日 11月25日(土)～11月26日(日)

場所 京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)



(出展者数)

生産者・加工グループ他134団体

(入場者及び売上)

日程	入場者数	売上高(千円)
1日目	25,000	17,000
2日目	20,000	12,000
合計	45,000	29,000

(開催内容)

- ・京都府内農林漁業関係団体による府内産の新鮮な農産物、畜産物、水産物や加工品等の販売、展示
- ・【新規】「福島産水産物応援販売・PRブース」の設置
- ・【新規】農業×福祉事業所による販売とPRを行う「ノウフクマルシェ」の開催
- ・京都食文化体験として、キッチンカーで京都の老舗料亭若主人自らが、「丹波くりと聖護院かぶの鶏雑炊」「聖護院だいこん・花菜・豚角煮の炊き合わせ」等4品を提供
- ・「京都よい食フェスタ2023」(JA京都中央会)
- ・京都府農林水産フェスティバル表彰式典(京都府)
- ・「食の京都エリア」の実施(京都府)
- ・「大商工祭」～丹後・丹波・山城の特産市～(京都府商工会連合会)



福島産水産物応援販売・PRブース



農業×福祉事業所による
「ノウフクマルシェ」



老舗料亭の若主人が京料理を提供
(京都食文化体験)

(2) 京野菜マルシェの開催 (11/1~12/8)

京都府内78店舗に販促資材を提供し、京野菜特設コーナーの設置等の支援や、京野菜の購入で応募ができるプレゼントキャンペーンを実施し、消費者の購買意欲を喚起するため「京野菜マルシェ」を開催しました。

- ・実施期間：11月1日(水)～12月8日(金)
- ・キャンペーン応募数：456件
- ・実施主体：おいしおすえ京野菜キャンペーン実行委員会
(府・京都市・JA中央会・JA全農京都・協会・青果協会・京都生協)



(3) 「食のあじわい館開館10周年アニバーサリー」イベントへ協力 (5月21日(日))

京の食文化ミュージアム・あじわい館10周年感謝祭へ、旬の京野菜を提供し、展示とPRを行いました。



京料理講演会



10周年スペシャル京野菜弁当



ブランド京野菜展示

(4) グローバルサミット京都大会「StoreTour」への協力 (6月7日(水)～8日(木)、イオンモール京都桂川)

各国から参集されたグローバルサミット京都大会の参加者へ、京のブランド野菜や京都の日本酒をPRしました。



京野菜販売コーナー



「Store Tour」参加者



京都の日本酒PRコーナー

(5) 全国日本酒フェアへの支援 (6月16日(金)～17日(土)、サンシャインシティ池袋)

京のブランド産品「祝」を中心に19銘柄、京都の日本酒をPRしました。
「祝」の稲も展示させていただきました。
＜来場者数＞約4,500名



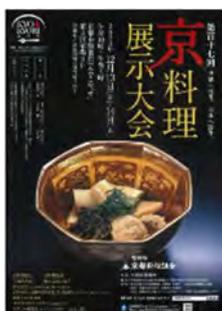
祝や京の酒をYoutubeライブでPR



来場者へ「京の酒」を提供

(6) 京料理展示大会で京野菜を販売 (12月13日(水)～14日(木)、みやこめっせ)

京都料理組合が主催する「第117回京料理展示大会」において京野菜のPR及び販売を行いました。



(4) 京野菜レシピのリーフレットを作成

著名な料理研究家 大原千鶴さん監修の「旬の彩り 京野菜レシピ」を冊子にし、各種イベント等で、販促に活用しました。



6 京の食文化の継承発展に資するPR活動等 料理専門学校で京野菜メニューを提供

未来の料理人である料理専門学校の学生が運営するレストランにブランド京野菜を使用した京野菜のメニューを提供いただきました。

- ・「万願寺甘とう」の食材提供を支援、5/29～10/16、2,850本
- ・「九条ねぎ」5/23～12/8、101束、「えびいも」10/20～11/17、300個、「こえびちゃん」12/1～1/19、1,130個の食材提供を支援



[大和学園学生レストラン]

(学生のコメント)

- ・「万願寺甘とう」のことは今回初めて知りましたが、生で食べても苦みがなく、ジューシーで甘かったのが驚きました。とても美味しかったです。
- ・ピーマンが苦手なので恐る恐る食べてみましたが、とても甘くて苦手な癖がなく、美味しく食べられました。
- ・炊いても、揚げても、焼いても、生でも美味しく食べられる面白い食材だと思います。

7 市場検品調査でブランド京野菜の品質確認

市場流通しているブランド京野菜の品質確認のため、京都市中央卸売市場第一市場でJA全農園芸課と連携して、検品調査を実施。

<実施期間> 通年実施

<回数> 17回（うち産品協会9回）（令和6年2月20日現在）



早朝、セリ前に調査



品質チェック



セリ価格を聞き取り

農産物価格安定対策事業

1 全体概要

■ 4事業（野菜等経営安定対策事業、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業、野菜計画生産出荷促進対策特別事業、豆類価格安定対策事業）において、49加入産地で事業を実施した。

■ 天候による作柄変動等により、価格が著しく低下することがあり、それに対応し、生産者が価格保証により生産・出荷を安心して進められる環境づくりと、消費者に野菜等の安定供給を行うため、各種農産物価格安定対策事業の適正な事業実施に努めた。

■ 京都府が主催する意見交換会が次の日程で開催され、当協会は事業実施主体として参加した。

▶ 意見交換のテーマ：「京都府の価格安定対策事業制度全般に係る現状と課題」について

実施日	意見交換した団体
令和5年11月 9日	京都府各広域振興局農林商工連携・推進課
12月14日	J A京都市
12月19日	J A京都中央
12月21日	全農京都府本部米穀課
12月22日	J A京都やましろ
令和6年 1月25日	J A京都
〃	J A京都にのくに

2 事業別概要

(1) 野菜等経営安定対策事業（府単独事業）

*（）：前年度

区分	対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン・千本)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
野菜	11 (12)	27 (28)	846 (899)	87,602 (88,922)	0 (1,055)
花き	1 (1)	2 (2)	432 (458)	3,339 (3,246)	0 (0)
計	12 (13)	29 (30)	-	90,941 (92,168)	0 (1,055) 事業完了率 60%

【要点】

- 今年度の補給交付金交付額は、全体的に例年より価格が安定傾向で現在のところ交付対象産地無し。
- 野菜は気候変動と雨不足により生育に影響し、出荷数量が減少したことから、例年より価格が高騰したため春～夏作まで保証対象産地無し。
- 花きにおいては、昨年に引き続き猛暑による生育抑制や開花遅れで全国的に切り花全体が不足したことから価格が高騰し、今年度も保証対象産地無し。

(2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（国庫事業）

*():前年度

対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
3 (3)	4 (4)	824 (825)	17,962 (17,994)	3,239 (2,063) 事業完了率 100%

【要点】

- 4産地（5業務区分）のうち4産地（4業務区分）で補給交付金を交付。全体として前年度より1,176千円と増加。
- 春キャベツにおいては、天候や病害虫の影響で前年度よりも出荷量が大きく減少、価格面でも単価安となり前年度と比較し補給金交付が増加。
- 果菜類については夏の酷暑と秋に入っても高気温の日が続いた影響により、出荷期間全体を通して出荷量は前年より大きく下回り、価格面でも前年度より単価高となり交付金が大きく減少した。

(3) 野菜計画生産出荷促進対策特別事業（府単独事業）

*():前年度

対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
2 (2)	4 (4)	968 (969)	24,325 (24,325)	0 (0) 事業完了率 100%

【要点】

- （独法）農畜産業振興機構が実施する「指定野菜価格安定対策事業」（国庫事業）での京都府内の加入産地及び2の事業の加入産地のうち、京都府が定める対象品目において、計画的に生産出荷が行われた場合に補給金を上乗せして交付する事業。
- 出荷数量が補給交付金の交付要件に満たなかったため交付の実績はなし。

(4) 豆類価格安定対策事業（府単独事業）

*（ ）：前年度

対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
黒大豆	4 (4)	109 (108)	41,139 (41,140)	0 (0)
小豆	8 (8)	69 (70)	25,741 (26,645)	0 (664)
計	12 (12)	178 (178)	66,880 (67,785)	0 (664) 事業完了率 0%

【要点】

○補給交付金については全産地で現在集計中。

○収入保険加入者が増える中で黒大豆・小豆ともに前年並みの産地数及び予約数量を維持している。

(5) 野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業（指定野菜価格安定対策事業）

【要点】

○（独）農畜産業振興機構が指定野菜価格安定対策資金を造成する場合において、生産者補給交付金として交付することを条件として、京都府負担額を協会を通じて機構に納付した。

参考：主な行事

月 日	行 事 等	場 所 等
4月 2日	市場一般開放2023	京都府南部総合地方卸売市場
10日	朝堀竹の子初せり	京都中央卸売市場
11日	首都圏出荷に係る打合せ	東一、太田市場
17日	首都圏イベント打合せ	京都JAビル
20日	園芸関係機関連絡調整会議	京都府庁
21日	京夏ずきん・紫ずきん打合せ(オンライン)	当事務所
25日	万願寺甘とう協議会役員会	JAにのくに本店
27日	こだわり検査(大黒本しめじ)	瑞穂農林
27日	「丹後とり貝」「丹後ぐじ」に係る検査計画の打合会議	京都府水産会館
5月 1日	京都府特産物育成協議会 事務局会議	京都JAビル
8日	「京の米で京の酒を」推進会議 事務局担当者会議	京都JAビル
15日	京のおもてなし協議会	京都JAビル
17日	万願寺甘とう初出荷・出発式	JAにのくに舞鶴検品場
16日	かすかべ湯元温泉 京野菜販売イベント(～22日)	埼玉県春日部市
18日	万願寺甘とう初競り	京都中央卸売市場
21日	食のあじわい館10周年記念イベント	食・あじわい館
28日	京都府漬物協同組合総会	リーガルロイヤルホテル京都
6月 1日	令和5年度京のふるさと産品協会 第1回理事会	京都JAビル
5日	「京の米で京の酒を」推進会議 総会	京都JAビル
5日	京都府特産物育成協議会 事務局会議	京都JAビル
6日	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 京野菜流通部会	京都府庁
6日	CGF 京都サミット Store Tour	京都桂川イオンモール
7日	京vegeアンバサダー任命式	京都JAビル
8日	新宿高島屋 イベント打合せ	京都府庁
15日	金時人参 ブランド化に係る打合せ	JAやましろ本店
16日	全国日本酒フェア(～17日)	池袋サンシャインシティ
19日	一般社団法人京都府食品産業協会 総会	京都ブライトンホテル
19日	京都府水産物ブランド推進協議会ブランド推進部会(オンライン)	当事務所
20日	JA京都 賀茂なす部会 目合わせ会	JA京都 本店
21日	令和5年度京のふるさと産品協会 定時総会	キャンパスプラザ京都
21日	令和5年度京のふるさと産品協会 第2回理事会	同上
21日	京vegeアンバサダーワークショップ	京都JAビル
22日	京都府特産物育成協議会 幹事会	京都JAビル
24日	京たんごメロン初せり	京都中央卸売市場
27日	オンライン産地見学会「万願寺甘とう」	綾部市
28日	京の食材マーケット開拓員との意見交換会	京都JAビル

7月 3日	JA京都賀茂なす部会 出荷会議	J A 京野菜亀岡中部支店
3日	京たんごメロン PR 放送	K B S ラジオ
3日	京野菜 PR 料理教室	A B C クッキング烏丸
4日	京都府特産物育成協議会 総会	京都 J A ビル
5日	きょうと食育ネットワーク 令和4年度総会・情報交換会(オンライン)	当事務所
6日	京の酒工場検査 (6、10、13、14、25日)	(株)増田徳兵衛商店他
7日	金時にんじん部会打合せ	J A やましろ久御山支店
7日	おもてなし協議会 総会	京都 J A ビル
7日	おいしおすえ京野菜キャンペーン実行委員会	京都 J A ビル
11日	こだわり生産認証確認者等研修会(14日)	北部物流センター他
14日	JA京都中央花菜部会 総会	J A 京都中央
15日	京野菜 縁日広場(~16日)	新宿高島屋
18日	収入保険・価格安定事業意見交換会	N O S A I 京都
19日	園芸連絡調整会議	京都府庁
24日	京 夏ずきん初せり	京都中央卸売市場
26日	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会総会	京都ガーデンパレス
8月 3日	農林水産フェスティバル 総会	京都 J A ビル
4日	京の食材マーケット開拓員との意見交換会	京都 J A ビル
4日	京の酒工場検査 (25日)	羽田酒造 他
7日	えびいも統一出荷規格にかかる意見交換会	J A 京都やましろ
21日	京さわらブランド化に向けた検討会	舞鶴漁協
29日	京たんご梨初競り	京都中央卸売市場
29日	JA京都賀茂なす部会意見交換会	京都中央卸売市場
29日	京都府特産物育成協議会 幹事会(オンライン)	当事務所
30日	農林水産フェスティバル担当者会議(府関係者)(オンライン)	当事務所
31日	農林水産フェスティバル担当者会議	京都 J A ビル
9月 1日	紫ずきん出荷に向けた情報交換会	京都 J A ビル
5日	ブランド認証審査会 幹事会	京都 J A ビル
7日	紫ずきん初競り	京都中央卸売市場
8日	輸出協議会「夏の京野菜フェア視察」	香港
11日	JA京都中央管内のブランド京野菜について打合わせ	J A 京都中央
21日	ブランド認証審査会	京都 J A ビル
22日	京漬物検査(26日)	大藤、北尾商店他
26日	産地見学会「京たんご梨」	京丹後市
26日	こえびちゃんの出荷に係る指導者向け研修会(オンライン)	当事務所
28日	農林水産フェスティバル パルスプラザとの打合せ	パルスプラザ

10月2日	JA京都やましろえびいも初出荷	京都中央卸売市場
3日	第2回産地指導員会議	京都JAビル
5日	京都フードテックエキスポ2023	けいはんなプラザ
5日	京の食材マーケット開拓員との意見交換会(オンライン)	当事務所
6日	第10回京都府丹波くり品評会	京丹波町中央公民館
11日	マネキン(アグリコネクション)打合せ	当事務所
15日	秋の市場一般開放	南部総合地方卸売市
18日	園芸関係機関連絡調整会議	京都府庁
20日	首都圏販促 日本橋三越打合せ 他	東京
21日	老舗フェスティバル2023	東京都日本橋
30日	京都府農林水産フェスティバル第2回担当者会議	京都JAビル
11月1日	京野菜マルシェ	府内各地
9日	価格対策事業打合せ	南丹振興局
14日	京都野菜卸売協同組合 京野菜料理教室	あじわい館
17日	ABCクッキング料理教室「こえびちゃんお試し会」(計15回)	新宿高島屋
18日	首都圏販促打合せ	東京青果株式会社
22日	聖護院だいこん出荷会議	JAやましろ久御山支店
25日	京都府農林水産フェスティバル(～26日)	パルスプラザ
28日	丹後とりがい部会	京都府漁協本所
12月1日	JA京都やましろ花菜部会出荷検討会	JA京都やましろ本店
5日	祝米こだわり検査(15、22日)	当事務所
5日	紫ずきん反省会	農林技術センター
6日	おもてなし協議会打合せ	京都JAビル
7日	日本ソムリエ協会京都支部例会セミナー	リーガルロイヤルホテル京都
7日	JA京都やましろ金時にんじん目合わせ会	JAやましろ久御山支店
8日	丹後ぐじ写真(ポスター等)撮影	佐川印刷
9日	KYOTAMBA CHRISTMAS MARKET2023	丹波自然運動公園
11日	万願寺甘とう役員会	JA京都にのくに
12日	JA京都やましろえびいも部会目合わせ会	JA京都やましろ選果場
13日	京料理展示大会(～14日)	みやこめっせ
14日	価格安定意見交換会(19、21、22日)	JA京都市 他
19日	JA京都京野菜部会亀岡支部賀茂なす部会反省会	亀岡中部支店
21日	特産協事務局会議	京都JAビル

1月 5日	初競り(初市式)	京都中央卸売市場
9日	JA 京都中央 花菜目合わせ会	乙訓農業構造改善センター
13日	セントライ青果京野菜販促	セントライ青果
15日	特産協 丹後地域キャラバン	JA京都 丹後
17日	幹事・産地指導推進指導員会議	京都JAビル
20日	横浜北仲マルシェ	横浜市
23日	おもてなし協議会	京都JAビル
24日	特産協 中丹地域キャラバン	JA京都にのくに本店
25日	価格安定意見交換会	JAにのくに/JA京都
25日	水産物ブランド推進協議会ブランド水産物打合せ(オンライン)	当事務所
26日	京都物産展(～30日)	香港
29日	特産協 南丹地域キャラバン	JA京都本店
31日	京都ガストロミーーツーリズムアワード 2023	ANAクラウンプラザホテル京都
31日	園芸関係機関連絡調整会議	京都府庁
2月 2日	JA 京都にのくに生産振興大会	JA京都にのくに本店
2日	京の食材マーケット開拓員との意見交換会	当事務所
5日	祝米こだわり検査	当事務所
8日	京の食材マーケット開拓員との意見交換会	当事務所
14日	特産協 京都乙訓地域意見交換会	京都JAビル
21日	特産協 山城地域意見交換会	JA京都やましろ本店
29日	ブランド認証品目の販売対策に係る検討会	京都府庁
29日	京都府食品産業協会 新春研修会	京都ブライトンホテル

令和5年度第3回理事会 協議事項

- 1 令和6年度事業計画及び収支予算について
- 2 令和6年度会費の賦課・徴収方法について
- 3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業交付準備金の返還について
- 4 その他

協議事項 1 令和6年度事業計画及び収支予算について

I 事業計画

<全体方針>

社会情勢に応じた消費者の行動変容・流通変化、地域ブランドを強化する他産地との競争激化に対応し、「オンリーワンを目指す攻めのブランド推進事業」の取組と「生産者を下支えする農産物価格安定対策事業」を関係機関と連携して推進します。

ブランド推進事業

<方針>

●オール京都で生産者と消費者をつなぐ取組を展開

○京都府、JAグループ京都、漁協及び流通・料理関係者等と連携しながら、①ブランド認証②情報収集・提供③普及啓発④相談・指導の4本柱で事業を展開し、生産者と消費者をつなぐ取組を継続します。

●ブランド力の強化

○関係機関・団体と連携し、生産から販売までの一体的なブランド戦略により「京のブランド産品」を府内産農林水産物のフラッグシップとして市場価値の向上に向けた取組を推進します。

○JAグループ京都が取り組む「儲かる農業」確立との連携など、各関係団体の方針に沿った事業を展開します。

●経済情勢等の変化に対応した消費者の行動変容・流通変化に適応したPR

○海外情勢や経済情勢の変化による消費者の行動変容・流通の変化に適応するため、参加型イベント等による試食宣伝に加え、デジタルサイネージなどのITを活用したPRやAIによる消費動向の分析を行います。

<事業内容>

1 ブランド認証事業

●ブランド品目・産地の取組支援

- ブランド認証産地の管理に努め、関係機関と連携して産地の取り組みを支援
- ブランド認証品目の円滑な流通・消費拡大に向けた資材（赤帯袋等）整備等支援
- ブランド認証品目拡大に向けた関係機関と意見交換等

●ブランド認証の実施・指導（京マークの管理、審査の実施、認証審査会の運営）

- 京野菜をはじめとした農林水産物ブランド認証制度の適正な運営
- 安心・安全を担保する京都こだわり生産認証制度の適正な運用、検査を関係機関と連携して実施
- カテゴリーごと（京野菜・水産物等）のパンフレットでPR

●市場検品調査の実施

- JA全農京都と連携し市場検品調査
- 調査結果を府指導機関・JA等へフィードバックし、産地の品質管理を支援

2 情報収集・提供事業

●社会情勢に応じた消費者の行動変容・流通変化に適応した事業展開

- 消費者・料理店・流通・生産者をつなぐため多様な媒体で情報発信
 - ・消費者・小売店・料理店・産地をつなぐため、ターゲットに合わせて、情報誌「元気印」や「元気印ミニ」、ホームページ・SNSによる情報提供やPRに加え、QRコードによる消費行動の分析などIT技術を活用した取組をモデル的に実施
- 流通・料理店関係者に向けオンライン等での情報発信
 - ・京野菜等のこだわりを産地から生で伝える「産地見学会」をより魅力のある内容にブラッシュアップし、ハイブリッドで情報発信
 - ・YouTubeによる配信については、好評であり「百聞は一見にしかず」の産地見学会の動画・写真等のコンテンツを流通関係者向けのPRにも活用
- 消費者参加型の情報発信
 - ・料理教室やレストランフェア等を通じて幅広い消費者に向けて、京野菜の栄養・健康機能性・料理特性等における価値を効果的に情報発信
 - ・「京V e g eアンバサダー」を任命し、消費者、特に若い世代の視点から、京野菜等の栄養・健康機能性・料理特性等新たな価値を情報発信
- 未来の料理人へのPR
 - ・料理専門学校へブランド京野菜の情報を提供し、学生レストラン、調理実習での活用を依頼
- 高級量販店等との連携による、消費者ニーズに即したPR
 - ・「簡単・早い・おいしい」料理レシピを開発・動画作成
 - ・高級量販店への意向調査を行い、各店舗の販売動向に応じたPRに加え、デジタルサイネージ等のIT技術を活用した取組をモデル的に実施
- マスコミを通じたPR
 - ・TV・新聞・雑誌等のマスコミから京野菜等の問合せ、情報提供の依頼に「京のブランド産品」の広告塔として対応・PR。新聞・雑誌等にブランド産品広告掲載
- 首都圏に「京の食材マーケット開拓員」を引き続き設置
 - ・協会の意向を市場・店舗に働きかけるとともに、市場動向等の調査を含めた情報の収集とフィードバックの実施
 - ・量販店との連携を深めるための意見交換と販売促進活動の支援

3 普及啓発事業（イベント関連）

●販売店と連携した京のブランド産品PR活動の展開

- ブランド京野菜等の消費拡大に向け、多様な取り組み（京野菜マルシェ、セミナーや料理教室と連携した販売促進、動画放映モニター提供等）をパッケージにした企画を販売店等に提案

●美味研鑽 京の食文化「ブランド京野菜 旬の料理フェア」の開催

- 京野菜への理解を深め、府内産農林水産物の消費拡大と飲食業界の支援、京の食文化の継承のため「ブランド京野菜 旬の料理フェア」を開催

●京都府農林水産フェスティバルの開催

- 京都府の農林水産業を感じることでできる体験型イベントを充実

4 相談・指導事業

- 府内各地域でのイベント、各種生産出荷対策会議に出席し、助言
- 生産者・JA関係者が行う市場調査や研修活動に対して支援

農産物価格安定対策事業

<令和 6 年度実施方針>

●農業経営・農産物生産の安定につなげる事業実施

府内生産者の農業経営を下支えし、再生産を確保することにより、農産物の安定生産を図るとともに、消費者に農産物の安定供給を図ることを目的とする農産物価格安定対策事業の果たす役割は大きいものがあります。

このため、農産物の市場・産地価格等が一定水準以下に低下した時に生産者に補給金を交付する農産物価格安定対策事業を引き続き実施します。

●農産物価格安定対策事業制度の全般的な点検・見直し

府内生産者が価格保証により生産・出荷を安心して実施できる環境づくりに資する取組として、関係機関と連携しながら価格安定対策事業内容のPRに努めるとともに、現行制度の手続等の点検・見直しを適時・適切に行います。

<事業内容>

1 野菜等経営安定対策事業（京都府独自制度）

*（ ）：前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
12 (13)	29 (30)	45 (47)	野菜 846トン (921トン) 花き 433千本 (458千本)

(参考) 各産地に見合う保証基準額を毎年設定して事業を実施することで、わずかな単価変動にも対応できるようにしています。

事業全体の産地数・申込数量は若干減少傾向ですが、一部の事業継続産地では申込数量が増加しています。また、特例要件を適用して事業加入を継続しているところもあります。

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（国制度）

*（ ）：前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
3 (3)	4 (4)	5 (5)	785トン (824トン)

(参考) 近年の気候変動等の中で、交付予約数量と出荷実績数量とのかい離のある産地については、行政の指導を踏まえ交付予約数量の見直しを行っています。

そのため、どの産地も前年度より交付予約数量は減少しているものの、出荷数量の確保に努め、前年度と同じ産地数・業務区分数を維持しています。

3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業（京都府独自制度）

*（ ）：前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
2 (2)	4 (4)	5 (5)	909トン (968トン)

(参考) 京都府が認めた品目のうち、主に上記2の事業の加入産地において計画的に生産出荷が行われた場合に補給金を上乘せして交付する事業です。上記2の事業の加入産地においては前述のとおり交付予約数量の見直しが行われたため、前年度よりも予約数量は減少しているものの、前年度と同じ産地数・業務区分数を維持しています。

4 豆類価格安定対策事業（京都府独自制度）

*（ ）：前年度

品目	産地数	業務区分	交付予約数量
黒大豆	4 (4)	7 (7)	109トン (108トン)
小豆	8 (8)	10 (10)	69トン (70トン)

(参考) 収入保険への移行等により事業実施産地が減少している中で、継続して事業加入する産地では、前年度並みの交付予約数量を維持しています。

5 野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業（指定野菜価格安定対策事業）（国制度）

*（ ）：前年度

品目	産地数	業務区分	出荷団体
夏秋なす	1 (1)	2 (2)	全農京都府本部

(参考) (独) 農畜産業振興機構が指定野菜価格安定対策資金を造成する場合において、生産者補給交付金として交付することを条件として、協会を通じて京都府負担額を機構に納付します。

6 大規模契約栽培産地育成強化推進支援事業に係る事務支援（国制度）

加工・業務用野菜を中心に国内産が需要に答えきれていない品目や作型の作付け拡大等を推進することを目的に、大規模面積で実需者との契約栽培に取り組む産地を（独）農畜産業振興機構が支援する事業です。

協会は、この事業の円滑化のため、事業実施主体の事務支援を行います。

<重点的取り組み>

(1) 収入保険制度と野菜価格安定制度の同時利用への対応

国で生産者に対する収入保険制度と野菜価格安定制度の同時利用可能期間を設定する措置が延長されている間、当協会は生産者が価格安定制度を活用する段階、及び関係団体での申込手続段階で、しっかり点検し適正な事業運営を行います。

(2) 価格安定対策事業制度の見直し等の取組

農産物価格安定対策制度の現状の問題点等を点検するため、当協会は京都府が主催する関係団体との意見交換等に事業実施団体として参加し、今後の手続等の改善に向けた取り組みに積極的に関わってまいります。

令和6年度農産物価格安定対策事業計画総括表

事業名		産地数	業務区分数	交付予約数量 (トン・千本)
野菜等経営安定対策事業	野菜(トン)	27	43	846
	花き(千本)	2	2	433
特定野菜等供給育成価格差補給事業	野菜(トン)	4	5	785
野菜計画生産出荷促進対策特別事業	野菜(トン)	4	5	909
豆類価格安定対策事業	豆類(トン)	12	17	178
合 計	野菜豆計(トン)	47	70	2,718
	花き計(千本)	2	2	433

※当協会が事業実施主体となっている事業分のみを記載。

<農産物価格安定対策事業>

1 野菜等経営安定対策事業

区分	対象野菜（野菜）	作型	交付予約数量	作付面積	契約出荷団体	産地名
		業務区分数	〔トン・千本〕	(a)		
更新	ねぎ（九条ねぎ）	春	271.0	677.0	京都やましろ	八幡市
	みず菜	春まき	4.0	50.7	京都やましろ	宇治田原町
	みず菜	夏まき	4.2	50.0	京都やましろ	宇治田原町
	みず菜	秋冬まき	4.2	54.1	京都やましろ	宇治田原町
	きゅうり	10-12月	14.1	50.0	京都やましろ	宇治田原町
	青とうがらし	普通	9.3	50.0	京都やましろ	精華町
	万願寺とうがらし	半促成	81.0	307.9	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	春まき	22.0	110.0	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	夏まき	20.0	100.0	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬まき	19.6	98.0	京都やましろ	やましろ広域
	花菜	冬春	11.7	300.0	京都やましろ	やましろ広域
	花菜	冬春	2.1	50.0	京都やましろ	和束町
	青とうがらし	普通	8.6	61.2	京都	京都市
	青とうがらし	普通	14.2	53.2	京都	南丹市
	黒大豆えだまめ	普通	8.3	207.0	京都	南丹市
	みず菜	春まき	23.6	268.4	京都	南丹市
	みず菜	夏まき	19.5	273.3	京都	南丹市
	みず菜	秋冬まき	28.5	297.5	京都	南丹市
	ねぎ（九条ねぎ）	夏	5.7	51.0	京都	南丹市
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬	3.6	50.0	京都	南丹市
	壬生菜	春まき	11.2	125.8	京都	南丹市
	壬生菜	夏まき	7.3	116.0	京都	南丹市
	壬生菜	秋冬まき	17.7	115.6	京都	南丹市
	しゅんぎく	秋冬	3.8	89.8	京都	南丹市
	しゅんぎく	冬春	6.5	86.3	京都	南丹市
	ほうれんそう	春	5.5	92.7	京都	京丹波町
	ほうれんそう	夏秋	4.3	137.1	京都	京丹波町
	ほうれんそう	冬春	5.9	96.5	京都	京丹波町
	みず菜	春まき	4.2	72.8	京都	京丹波町
	みず菜	夏まき	2.6	52.2	京都	京丹波町
	みず菜	秋冬まき	3.4	50.9	京都	京丹波町
	きゅうり	7-9月	22.1	56.0	京都	福知山市
	みず菜	秋冬まき	6.8	65.3	京都	京丹後市
	賀茂なす	普通	5.0	28.3	京都	京丹後市
	みず菜	春まき	1.8	23.8	京都	伊根町
	みず菜	秋冬まき	2.3	28.9	京都	伊根町
	ねぎ（九条ねぎ）	4-9月	9.5	105.6	京都	伊根町
	ねぎ（九条ねぎ）	10-3月	6.8	74.0	京都	伊根町
	黒大豆えだまめ	普通	2.7	78.3	京都にのくに	福知山市
	万願寺とうがらし	普通	19.4	58.7	京都にのくに	福知山市
	万願寺とうがらし	普通	92.7	257.4	京都にのくに	舞鶴市
	黒大豆えだまめ	普通	0.6	21.0	京都にのくに	綾部市
	万願寺とうがらし	普通	28.3	85.7	京都にのくに	綾部市
	野菜小計	43	845.6	5,078.0		

区分	対象野菜（花き）	作型	交付予約数量	作付面積	契約出荷団体	産地名
		業務区分数	〔トン・千本〕	(a)		
更新	コギク	7-9月	32.4	30.0	京都	福知山市
	コギク	7-9月	400.1	146.7	京都	京丹後市
	花き小計	2	432.5	176.7		
	野菜小計	43	845.6	5,078.0		再掲
	花き小計	2	432.5	176.7		再掲
	合計	45	1,278.1	5,254.7		

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業(指定野菜供給産地育成価格差補給事業)

区分	対象野菜	対象JA	対象産地	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
継 続	春キャベツ	京都中央	伏見	4/1~5/15	103.0
短 縮	春キャベツ	京都市、京都中央	伏見	5/16~6/30	253.0
短 縮	夏秋きゅうり	京都やましろ	宇治田原	7/1~9/30	140.0
短 縮	夏秋なす	京都中央	大原野、向日・長岡京	7/1~9/30	247.0
短 縮		京都中央	大原野、向日・長岡京	10/1~11/30	42.0
合 計					785.0

3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業

区分	対象野菜	対象JA	対象産地	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
特定野菜等供給産地育成価格差補給事業					
	夏秋きゅうり	京都やましろ	宇治田原	7/1~9/30	140.0
	夏秋なす	京都中央	大原野、向日・長岡京	7/1~9/30	247.0
		京都中央	大原野、向日・長岡京	10/1~11/30	42.0
小 計					429.0
指定野菜価格安定対策事業					
	夏秋なす	京都やましろ	京やましろ	7/1~9/30	380.0
		京都やましろ	京やましろ	10/1~11/30	100.0
小 計					480.0
合 計					909.0

4 豆類価格安定対策事業

区分	対象豆類	契約出荷団体	産地名	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
更 新	黒大豆	京都	京丹後市久美浜町	11/1～12/31	10.63
	小豆	京都	亀岡市	11/1～12/31	7.03
	小豆	京都	福知山市	1/1～3/31	1.21
	小豆	京都	宮津市	11/1～12/31	1.70
継 続	黒大豆	京都	南丹市日吉町	11/1～12/31	13.07
	黒大豆	京都	京丹波町丹波	11/1～12/31	1.41
	黒大豆	京都	京丹波町丹波	1/1～3/31	16.13
	黒大豆	京都	京丹波町和知	11/1～12/31	47.81
	黒大豆	京都	京丹波町和知	1/1～3/31	10.38
	黒大豆	京都	京丹後市久美浜町	1/1～3/31	9.60
	小豆	京都	京都市右京区京北	11/1～12/31	0.66
	小豆	京都	南丹市日吉町	11/1～12/31	2.76
	小豆	京都	京丹波町丹波	11/1～12/31	10.09
	小豆	京都	京丹波町瑞穂	11/1～12/31	23.71
	小豆	京都	福知山市	11/1～12/31	17.11
	小豆	京都にのくに	舞鶴市	11/1～12/31	1.87
	小豆	京都にのくに	舞鶴市	1/1～3/31	3.13
		黒大豆合計			
	小豆合計				69.26
	総合計				178.28

II 収支予算

収支予算書(損益ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	(21,472)	(20,952)	(520)
正会員受取会費	20,872	20,872	-
賛助会員受取会費	600	80	520
受取補助金等	(56,563)	(55,817)	(745)
受取ブランド推進事業補助金	44,933	43,186	1,747
受取野菜等経営安定対策事業 交付準備金	8,757	10,840	△2,083
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	1,169	996	173
受取野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	280	280	-
受取豆類価格安定対策事業 交付準備金	423	514	△91
受取価格安定事業補助金	1,000	0	1,000
受取助成金等	(2,339)	(1,993)	(346)
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付助成金	2,339	1,993	346
受取負担金	(15,350)	(18,951)	(△3,601)
受取負担金1号	8,757	10,840	△2,083
受取負担金3号	1,169	996	173
受取負担金5号	423	514	△91
受取分担金	5,000	6,600	△1,600
雑収益	(218)	(222)	(△4)
受取利息	3	7	△4
雑収益	215	215	-
経常収益計	95,942	97,935	△1,993
(2) 経常費用			
事業費	(85,901)	(89,632)	(△3,730)
役員報酬	8,615	5,250	3,365
給料手当	19,888	17,715	2,173
賃金	1,360	1,700	△340
諸謝金	330	480	△150
福利厚生費	-	5	△5
法定福利費	5,254	4,490	763
保険料	20	66	△46
会議費	138	450	△311
旅費	1,325	1,554	△229
通信運搬費	1,572	2,244	△672
減価償却費	303	378	△74
消耗品費	1,207	756	450
印刷資料費	2,437	4,145	△1,708
光熱水費	394	545	△150
賃借料	3,512	3,242	270
支払手数料	1,134	1,164	△30
支払助成金	250	400	△150

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額
委託料	9,373	8,720	653
租税公課	1	1	-
広告宣伝費	3,115	7,835	△4,720
支払負担金	2,300	1,512	788
支払補助金等			
支払野菜等経営安定対策事業	17,515	21,681	△4,166
支払特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	4,678	3,986	692
支払野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	280	280	-
支払豆類価格安定対策事業 交付準備金	846	1,028	△182
雑費	50	2	48
管理費	(9,087)	(7,466)	(1,621)
役員報酬	3,016	1,921	1,095
給料手当	2,806	2,438	368
福利厚生費	268	261	7
法定福利費	770	654	116
保険料	12	58	△46
会議費	87	110	△22
旅費	200	52	148
通信運搬費	141	146	△4
減価償却費	68	109	△41
消耗品費	110	56	54
印刷資料費	81	81	-
光熱水費	79	109	△30
賃借料	553	553	-
支払手数料	220	243	△22
委託料	652	652	-
租税公課	2	2	-
支払負担金	12	12	-
雑費	5	5	-
経常費用計	94,989	97,098	△2,109
評価損益等調整前当期経常増減額	953	837	115
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	953	837	115
2. 経常外増減の部			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期一般正味財産増減額	953	837	115
一般正味財産期首残高	13,592	5,179	8,412
一般正味財産期末残高	14,545	6,016	8,528
II 指定正味財産増減の部	-	-	-
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	14,545	6,016	8,528

正味財産増減予算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取会費	-	-	14,312	14,312	7,159		21,472
正会員受取会費	-	-	13,712	13,712	7,159		20,872
賛助会員受取会費	-	-	600	600	-		600
受取補助金等	40,338	13,353	-	53,691	2,871		56,563
受取ブランド推進事業補助金	40,338	1,723	-	42,061	2,871		44,933
受取野菜等経営安定対策事業 交付準備金	-	8,757	-	8,757	-		8,757
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	-	1,169	-	1,169	-		1,169
受取野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	-	280	-	280	-		280
受取豆類価格安定対策事業 交付準備金	-	423	-	423	-		423
受取価格安定事業補助金	-	1,000	-	1,000	-		1,000
受取助成金等	-	2,339	-	2,339	-		2,339
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付助成金	-	2,339	-	2,339	-		2,339
受取負担金	5,000	10,350	-	15,350	-		15,350
受取負担金1号	-	8,757	-	8,757	-		8,757
受取負担金3号	-	1,169	-	1,169	-		1,169
受取負担金5号	-	423	-	423	-		423
受取分担金	5,000	-	-	5,000	-		5,000
雑収益	202	1	-	203	15		218
受取利息	2	1	-	3	-		3
雑収益	200	-	-	200	15		215
経常収益計	45,540	26,043	14,312	85,896	10,045		95,942
(2) 経常費用							
事業費	(50,834)	(35,067)	-	(85,901)			(85,901)
役員報酬	6,892	1,723	-	8,615			8,615
給料手当	12,872	7,016	-	19,888			19,888
賃金	1,360	-	-	1,360			1,360
諸謝金	330	-	-	330			330
法定福利費	3,911	1,343	-	5,254			5,254
保険料	20	-	-	20			20
会議費	135	3	-	138			138
旅費	1,300	25	-	1,325			1,325
通信運搬費	1,448	123	-	1,572			1,572
減価償却費	263	40	-	303			303
消耗品費	1,115	92	-	1,207			1,207

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
印刷資料費	2,437	-	-	2,437			2,437
光熱水費	328	65	-	394			394
賃借料	3,051	460	-	3,512			3,512
支払手数料	853	280	-	1,134			1,134
支払助成金	250	-	-	250			250
委託料	8,800	573	-	9,373			9,373
租税公課	-	1	-	1			1
広告宣伝費	3,115	-	-	3,115			3,115
支払負担金	2,300	-	-	2,300			2,300
支払補助金等							
支払野菜等経営安定対策事業 交付準備金	-	17,515	-	17,515			17,515
支払特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	-	4,678	-	4,678			4,678
支払野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	-	280	-	280			280
支払豆類価格安定対策事業 交付準備金	-	846	-	846			846
雑費	50	-	-	50			50
管理費					(9,087)		(9,087)
役員報酬					3,016		3,016
給料手当					2,806		2,806
福利厚生費					268		268
法定福利費					770		770
保険料					12		12
会議費					87		87
旅費					200		200
通信運搬費					141		141
減価償却費					68		68
消耗品費					110		110
印刷資料費					81		81
光熱水費					79		79
賃借料					553		553
支払手数料					220		220
委託料					652		652
租税公課					2		2
支払負担金					12		12
雑費					5		5
経常費用計	50,834	35,067	-	85,901	9,087		94,989
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,293	△9,023	14,312	△4	958		953
評価損益等計	-	-	-	-	-		-
当期経常増減額	△5,293	△9,023	14,312	△4	958		953

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	-	-	-	-	-		-
(2) 経常外費用							
経常外費用計	-	-	-	-	-		-
当期経常外増減額	-	-	-	-	-		-
当期一般正味財産増減額	△5,293	△9,023	14,312	△4	958		953
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-		13,592
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-		14,545
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-		-
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-		-
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-		-
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-		14,545

協議事項 2 令和6年度会費の賦課・徴収方法について

定款第7条の規定及び会費等に関する規程により、令和6年度の協会の活動に必要な会費を下記により徴収する。

1 ブランド推進事業関係会費

(定款第4条第1項第1号に規定するブランド推進事業関係会費)

総 額 7,600,000 円

(1) 賦課方法

京都府、JA連合会、JA及びその他連合会・会員にあっては、次の額をそれぞれ負担する。

京 都 府	3,000,000 円
J A 連 合 会	2,700,000 円
J A	1,500,000 円
その他連合会・会員	400,000 円

(2) 徴収方法

令和6年10月31日までに徴収する。

2 価格安定対策事業関係会費

(定款第4条第1項第2号に規定する価格安定事業関係会費)

総 額 13,272,000 円

(1) 賦課方法

京都府にあっては、特別運営費(5,772千円)及び会費の対象となる価格対策管理運営費(全体額7,500千円)の3分の1の額2,500千円を、市町村・JA連合会にあっては、会費の対象となる価格対策管理運営費の6分の1の額1,250千円を、JAにあっては、会費の対象となる価格対策管理運営費の3分の1の額2,500千円を、それぞれ負担する。

京 都 府	8,272,000 円
市 町 村	1,250,000 円
J A 連 合 会	1,250,000 円
J A	2,500,000 円

(2) 徴収方法

令和6年10月31日までに徴収する。

3 賛助会員会費

(定款第5条第1項第2号に規定する賛助会員の会費)

(1) 賦課方法

1団体当たり 20,000 円 以上

(2) 徴収方法

既加入団体にあつては令和6年10月31日までに徴収し、新規加入団体にあつては入会后速やかに徴収する。

【参 考】

<農産物価格安定対策事業負担金>

1 野菜等経営安定対策事業負担金

負担金11,697,494円は、令和6年度において見込まれる交付予約数量野菜846トン、花き433千本に係る業務方法書第6条第2項に規定する造成資金と令和5年度末の残資金との差額であって、野菜等経営安定対策事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第6条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

契約出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業負担金

負担金720,000円は、令和6年度において見込まれる交付予約数量785トンに係る業務方法書第30条第2項に規定する造成資金と令和5年度末の残資金との差額であって、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第30条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

対象出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

3 豆類価格安定対策事業負担金

負担金495,000円は、令和6年度において見込まれる交付予約数量178トンに係る業務方法書第75条第2項に規定する造成資金と令和5年度末の残資金との差額であって、豆類価格安定対策事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第75条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

契約出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

以上

協議事項 3

野菜計画生産出荷促進対策特別事業交付準備金の返還について

■ 経緯

- ▶ 野菜計画生産出荷促進対策特別事業（以下「本事業」という。）の実施に必要な資金造成額を超える額が、長期にわたって造成されたまま※であるため、当協会は、京都府と当該資金の返還に向けて協議・調整を行っていく旨、令和5年度第1回理事会（令和5年6月1日開催）に報告して了承を得た。

※ 造成残額は平成26年度末以降 24,325,151円の変動なし

■ 京都府との協議内容

- ▶ 京都府は本事業の継続を前提とし、当該資金の返還に係る根拠規定を整備する。
- ▶ 当協会は、長期間残された京都府資金残額(京都府負担割合 10/10)は、令和5年度中に全額京都府に返還する。
- ▶ 今後、当協会は本事業での事前の資金造成は行わず、当該特別補給金の交付が必要な場合は、京都府が当該必要額を当協会に措置する仕組みとする。

■ 当協会の対応（案）

- ▶ 当協会は、これまで本事業で特別補給金の交付に必要な資金を造成してきたが、生産者等に交付せずに京都府に返還することは、当該補給金の目的外の支出に当たるため、当該返還のためには、当協会内部で意思決定を得ておく必要がある。
- ▶ 今回、京都府では本事業実施要領を一部改正して本制度に係る返還手続きを明確にした上での当該資金の返還要請であるため、当協会は、これに応じることとする。

■ 今後の方向性

- ▶ 令和5年度中に当該資金（造成残額）を京都府に返還する。
- ▶ 当協会は、事業実施団体として本事業の新しい運用の仕方に関し、京都府及び関係団体とよく協議しながら、当該制度の運用改善を図っていくこととする。

以 上